小６　鹿児島市立南方小学校
令和7年7月18日

令和７年　学校評価　自己評価（前期）

１　学校の重点目標

◇　「主体的・対話的で深い学び」の展開による「確かな学力」の習得
◇　自他のよさを認め合う，思いやりの心を基盤とした「豊かな心」の醸成
◇　心と体を一体として捉えた健康・体力の保持増進による「健やかな体」の育成
◇　「チーム学校」で取り組む「職員の資質向上」の推進
◇　地域に根ざした「開かれた学校」の創造
◇　教育の質を向上させる「教育の情報化」の実現

２　課題と改善策（４段階評価）

	評価項目	教員	評価結果と改善方策
確かな学力	１　「主体的・対話的で深い学び」の実現	3.3	・周りの状況を考えながら行動させることも大切である。今後指導を充実させたい。
	２　「規律と静けさと安心感のある」学級づくり	3.3	
	３　カリマネの推進（作文教育，保健教育）	3.4	・１学期は朝活の作文タイムの回数が少なかった。その分、朝活と土曜日の作文の時間はしっかりと進められるようにしたい。
	４　複式学級における学習指導法の確立	3.4	
	５　特別支援教育の充実（校内委員会，授業のＵＤ化）	3.4	
豊かな心	１　いじめ，不登校，問題行動の未然防止	3.8	・今後も，お互い情報交換をしながら，早めの対応に心がけたい。
	２　Ｍｏｍを基盤とした児童理解	3.4	
	３　命の教育の充実	3.8	・植物や生き物との関りを通して，命の大切さを指導していくことも大切である。
	４　ボランティア活動の推進	3.3	
	５　一校一改革の徹底「話は目で聴く」	3.3	・今後，重点的に指導を行っていきたい。
健やかな体	１　基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん）	3.3	・家庭と連携した保健指導を今後も継続させたい。
	２　「チャレンジかごしま」への挑戦	3.4	
	３　新体力テスト結果を踏まえた課題克服	3.0	・体力テストの課題を意識しながら，体育の授業や朝の体力づくりに取り組めるよう指導を行う。
	４　主体的に問題解決を図る「保健教育」の推進	3.3	
職員の資質向上	１　アクションプランに基づく業務改善の推進	3.8	・主体的に研修に関り，情報交換を行いながら，よりよい授業改革に努めていきたい。
	２　問題解決型の服務に関する研修の充実及び体罰の根絶	3.8	
	３　協働的な職員研修の実施（一人でしない，一人にしない，みんなでつくる！）	3.3	
社会に開かれた学校	１　学校の説明責任と子供のよさの積極的発信	3.9	・いろいろな場面で子供たちを認め，今後も一人一人のよさが伝えられるよう努力していく。
	２　学校，家庭，地域が一体となった特色ある教育活動の推進	3.6	
	３　コミュニティ・スクール実現に向けた体制整備	3.3	・今後も地域とより連携を図っていきたい。
教育の情報化	１　情報教育の推進（情報活用能力，情報モラル教育，プログラミング教育）	3.8	・計画的に今後も指導を行っていき，来年度へ向けて計画の見直しを行っていく。
	２　教科指導におけるＩＣＴ活用促進（ＩＣＴを効果的に活用した分かりやすく深まる授業）	3.8	・学習用端末の入替と共に，端末の仕様について指導しなおし，よりよい活用につなげる。
	３　校務の情報化の推進（総合型校務支援システムの有効活用や連絡手段のデジタル化等）	4.0	・情報漏洩等に気を付けながら，よりよい活用に努めていきたい。

３　次学期に向けての取組

○　児童一人一人に寄り添った支援，指導ができるよう，研修により主体的に取り組み，対話をしながら共通実践ができるようにする。
○　情報交換をしながら，研修の充実を図り，よりよい授業づくり・学力向上に努めていけるようにする。